

平成24年度 福知山千年の森づくり協議会 第1回総会

◆日時 平成24年6月13日(水) 14:30~16:30

◆場所 福知山市民会館31号室

1 開会

(市)

- ・平成19年8月に国定公園に指定され、平成21年に千年の森づくり協議会を立ち上げて以来2年が経過したが、その間公園整備やケヤキの植樹等について貴重なご意見を聞かせていただき、御協力くださった事に感謝をしたい。
- ・今回の御参集を有り難く思うと共に、この機会に幅広い立場からのアドバイスやアピールを数多く賜りたい。



2 委員の出席

26人中14人

3 委員代表挨拶

(森本会長)

- ・今年の3月に活動の拠点を京都市から亀岡市に移すこととなり、長年通っている福知山市に若干近づく事となった。協議会と言うと堅苦しいイメージがあるが、ざっくばらんな意見交換を期待すると共に御協力をお願いしたい。



○議事進行は森本会長（規約に基づく）

4 出席者の確認

- ・26人中14人出席 規約8条により委員の過半数の出席があり成立

5 平成23年度事業報告

- ・配布資料を読み上げて説明(市)



(森本会長)

- ・11月8日の試験植樹に参加したが、その後の状況はどうか

(市)

- ・本年5月19日の段階では順調に生育していたが、これから暑くなるので様子を見たい。

(仕名野委員)

- ・三岳山に登っても、見えているものがわからない。大江山と同じ様な方位盤を付ける予定は無いのか。

(市)

- ・今年度、三岳山にも設置を予定している。24年度計画で説明する。

(森本会長)

- ・ボランティアガイド養成講座に於いて修了者に対しては修了書等を発行されないのか。
- ・その後の活動の予定についてはどうか。

(市)

- ・修了者には修了書を交付している。
- ・その後は希望者には「福知山観光ガイドの会」に入会してもらっている。現在殆どの人が入会されているが、昨年実施したガイドは大江山地域を対象としており、その活動の場は大江山地域が主となっている。

(中島委員)

- ・生涯学習課の企画で鬼嶽稻荷神社から千丈ヶ嶽、鍋塚の駐車場まで歩いて各分野の先生に説明を受けた事があるが、大変参考になったのでその様な企画を考えたらどうか。
- ・現在、樹木に名称のプレートが付いているが、若干見づらい様に思える。
- ・大江山スキー場に行く府道の法面工事で、日向水木が多く生えていた所を掘削されたので、無くなってしまった。植え替える等の対策をとる事も含め、工事の前に十分に検討確認して自然保護に努めてほしい。

(仕名野委員)

- ・大江山グリーンロッジ付近の道路等で草刈りをされている方の話であるが、景観もあるので草を刈らなければならないが、刈り取った草の中に重要な植



物が混ざっていて、それを保護するよう苦情を受けたことがあり、対応に苦慮しているという話があった。事前に貴重な植物が生育していることを現地に表示すれば良いが、そうすれば採る人も出てくるし、対応が難しい問題である。

- ・熊に対しても貴重動物としての保護と、人的被害の関係で駆除する必要があるという両方の立場があり、一概に割り切れるものではない。同じような話であり、慎重な判断が必要と思われる。
- ・建設的な自然保護の意見を望みたい。

(森本会長)

- ・色々な改善点を公的な枠組みの中で解決するのが大切と思われるが、情報交換を密にする事が重要だと思う。

(市)

- ・樹齢が千年ほどある樹木は無いのだろうか。
- ・樹木にプレートを付けるのは非常に重要だと思う。子ども達にも大変良いアピールになると思う。
- ・神社付近には相当古いと思われる木があるが、樹齢、成木の大きさ等、詳細をプレートに記す様なことは可能なのか。

(中島委員)

- ・大学の調査では樹齢600年ほどの木が見つかった。
- ・一番大きいのは栃の木である。

(森本会長)

- ・樹齢を切らずに正確に計測する事は難しい。学生が切り株を調査したことがあるが、数百年の年輪に1週間程かかった。

○ 平成23年度事業報告の確認

6 平成24年度事業計画案

- ・資料配布を読み上げて説明(市)

(仕名野委員)

- ・枝採取作業に参加し自宅で育てているが、散水のタイミングが良くわからない。



- ・ヒュウガミズキの他にも育苗の候補が上がっているようだ。

(森本会長)

- ・多くの場合、水やりは過多になる傾向が強い。排水の状況にもよるが少な目が良い。栄養もあまり必要ではなく、肥料は必要ない。挿し木苗なので若干弱いかもしれない。良い木を育てるには種からが一番良いので、今後種取りもする様だが、積極的に取り組んで欲しい。現地の土を多少混ぜると根菌類の関係で良いと思う。



(中島委員)

- ・同じヒュウガミズキでも交流博物館前と、山間部に自生しているものとは差が見られる。交流博物館の前のは枝が曲がっているので、盆栽用のヒュウガミズキを植えたのではないかと思われる。

(森本会長)

- ・その様な事があるのならば、種取りの際は自生しているものから行う必要があると思う。

(中島委員)

- ・種は1つの実の中に1つなのか。それとも実の中に複数があるのか。

(森本会長)

- ・私も確認したことは無い。皆さんで確認してほしい。ドウダンツツジ等もそうだが、蛇紋岩に自生する植物は他の地質でも育つ場合が多く、ヒュウガミズキもそれに当てはまると思われるので、自宅の庭でも生育は可能だと思う。

(成美大学学生の中川委員 吉田委員 ※授業による途中退席に際して)

- ・日頃体験する事ではないせいか、(話が)難しく感じられた。またの機会があれば意見を述べたいと思う。
- ・私は福知山市民ではないがこの会に参加したことをきっかけに、今後も活動していきたいと思う。

○ 平成24年度事業計画案承認

7 事務局よりお知らせと提案

(市)

- ・現時点で寄付金が2,300万円に達しているが、用途について今後検討していただきたい。

- ・「千年の森づくり協議会委員」の名札を作ろうと考えている。

8 各委員の意見

(中村委員)

- ・樹齢1000年の木が無いかという問い合わせがあったが、確認が難しく判明していない。今後検証していく。
- ・天座地域の地域振興策として、源頼光の鬼退治伝説がある山道を整備し、大江山一斉登山のコースとしてPRしようと思う。



(岩間委員)

- ・ヒュウガミズキ等の植物の名前の周知が出来ていない。千年の森の認識もあまり浸透していない様なので、自治会レベルで理解出来る様に事務局から働きかけ広報に努めて欲しい。
- ・ヒュウガミズキ枝採取作業に際して、地元の一部からその活動に対して苦情を言われている人がいると聞いたことがある。入山についての調整等が必要ではないか。



(中島委員)

東京スカイツリーが634mなのに対して、御嶽稲荷が635mである。

(村上委員)

- ・一般的に山林への興味が薄れつつあり、北原地区などの限界集落が増える中で、千年の森づくり事業が果たす役割は大きく、地域の人に勇気を与えている。今後、広報活動に力を入れてほしい。
- ・野生動物との共生を考えつつ、森林の区分けを明確にして保護に努めて行かなければならない。



(正木委員)

- ・現時点では、千年の森づくり事業の内容が地域に理解されていない面があるので、協議会主導で広報を強化し、地域に浸透させてほしい。

(老中副課長) 木下委員の代理

- ・今年度から自然環境保全を担当しているが、それ以前は農業土木に従事していた。開発から自然保護へと仕事の内容が変わり若干戸惑っている。
- ・京都府内で国定公園の施設整備を行っている市町は、福知山市だけである。
- ・昨年度の実績の中でベンチの設置等の活動があるが、この様に今後も地元の意見を取入れながら、良い施設整備を行っていただきたい。

(江浪委員)

- ・ヒュウガミズキ植樹事業の成功を望んでいる。
- ・鳥獣被害対策を担当している。具体的な被害は少ないようだが今年度も熊等の目撃情報が多数寄せられている。
- ・年毎に差があるが、調査の結果、野山での餌となる果実等が減少している様である。
- ・野生動物との共生も考慮しながら、対策を進めて行かなければならないと思っている。
- ・7月8日に舞鶴市でイベントを予定しているので、そちらへの参加もお願いしたい。

(藤田委員)

- ・参加して4年になるが、この事業の骨子である自然保護と、通常従事している自然を切り開く土木行政とは相反する面が有り矛盾するものを感じている。



- ・現在和知町に住んでおり地元でも述べているのだが、自然保護にも二通りあって、全く手を付けることをしない方法と人工的に整備をする方法とが考えられる。それをどう選択して当てはめていくかが千年の森づくり事業を進めていく上で重要だと思われる。
- ・具体的な例として、鬼嶽神社付近への車両通行規制に関する活動があるが、一昨年のような事故を繰り返さない様な方策も必要である。参拝客等の利便性も考慮する必要がある、保護においても地域とのコンセンサスを確保しながら進めて行くのが重要である。
- ・直接的に係わった事業としてバイオトイレがあるが、冬季のメンテナンス等に課題を抱えており、自然との共生を考慮しつつ進めて行かなければならないと思う。

(山口委員)

- ・あまり活動には参加できていないが、昨年の樹木名板設置のフィールドワークには参加した。
- ・鬼嶽稲荷神社から千丈ヶ嶽山頂まではリョウブはたくさん自生している。
- ・今年は出来るだけ活動に参加していきたい。



(森本会長)

- ・色々なご意見をいただいたが、今後は幹事に於いて今回の意見を反映して行ってほしい。これで今回の会議を終了としたい。

(市)

- ・本日の閉会の挨拶を村上委員にお願いしたい。

9 閉会挨拶

(村上委員)

- ・平成24年事業計画は無事に承認された。多忙な中参集いただいた委員各位には感謝したい。
- ・先日山を見に行ったが、手入れがされずどこが境なのか分からない様な状況になっていた。先人が長い時間をかけて築いてきた山林も、管理を怠れば短期間で荒廃するのは目に見えている。山を守るには特効薬のような物は無く、日々の地道な努力しかないと思う。



- ・森本会長を中心とし事務局には、今後とも地域の為の活動をよろしくお願ひしたい。